

平成25年度予算見積調書(9月補正予算)

課室名：温暖化対策課
 担当名：エコエネルギー推進担当
 内線：3068 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	次世代自動車充電インフラ整備促進事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	次世代自動車充電インフラ整備促進事業費	
事業期間	平成25年度	根拠法令	埼玉県地球温暖化対策推進条例			戦略項目	09 新エネルギー埼玉モデルの構築		
						分野施策	040202 低炭素な暮らしとまちづくりの推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）の普及には、充電インフラの整備・拡充が不可欠である。</p> <p>県内に急速充電器は94基（平成25年3月現在）設置されているが、運転者の「電欠」に対する不安があり、まだ不十分である。</p> <p>このため、平成25年6月に次世代自動車充電インフラ整備ビジョンを策定し、県内に210か所・430基の充電器を整備・促進することとした。</p> <p>このうち県有施設4か所に、次世代自動車充電インフラ整備促進事業補助金を活用して充電インフラを整備する。</p> <p>(1) 県有施設への充電器整備事業 37,780千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 県有施設への充電器整備事業 37,780千円</p> <p>(ア) 設置箇所、基数 埼玉スタジアム2002・熊谷スポーツ文化公園・こども動物自然公園・さいたまスーパーアリーナ 各施設 急速充電器1基・普通充電器1基</p> <p>(イ) 事業スケジュール 平成25年10月 補助金申請 平成25年11月～12月 入札・充電器整備工事 平成26年1月 供用開始</p> <p>(2) 事業計画 民間事業者や市町村などと連携し、「次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」に位置付けた急速・普通充電器の整備を平成26年10月までに積極的に進める。</p> <p>次世代自動車充電インフラ整備ビジョン（210か所・430基）</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅 19か所・38基 国道等沿線及び高速道路インターチェンジ周辺 131か所・262基 充電器の利用が多く見込まれる施設や長時間滞在施設 54か所・118基 充電器の整備がない市町村 6か所・12基 <p>(3) 事業効果 EVやPHVに必要な充電インフラの整備が加速し、EVやPHVの更なる普及が促進され、自動車からのCO2排出量の削減が図れる。</p> <p>乗用車1km走行当たりのCO2排出量指数 ガソリン車：100 EV：45</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員マンパワーの活用、他団体との連携 民間事業者等への企業訪問や普及イベント等を通じ、充電インフラの整備及びEV・PHVの普及に取り組む。</p> <p>(5) その他 ・次世代自動車充電インフラ整備促進事業補助金は国の平成24年度補正予算により措置されたもの ・国 一般社団法人次世代自動車振興センター 事業主体</p>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(国（一般社団法人次世代自動車振興センター） 2/3・県1/3)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地域活性化事業債（11,000千円）の元利償還金の30%が後年度基準財政需要額に算入される。</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員なし</p>									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入	県債					一般財源	補正後の 予算額
決定額	37,780	22,260	12,000					3,520	37,780
現計額									